

2010年度の卒業生のメッセージ

国際交流系列 H・T

私はこの三年間、国際交流系列で様々なことについて学ばせて頂きました。昇が入ってから、英語を重点的に勉強したいと心に決めていました。最初は中学校との違いに戸惑うこともありましたが、勉強を進めていくうちに少しずつ慣れていくことができました。

二年生の二月、六泊七日の「語学研修」という形で、韓国へ行きました。この時は、韓国の一般家庭にホームステイをしたので、修学旅行とは違った視点から、異国の文化を吸収することができました。

また、クラブでは、英会話サークルはいつも少人数でしたが、ALTの先生、ニコール、シネードから教えてもらったケーキ作りが一番楽しい思い出です。

最後になりますが、国際交流系列の先生方には様々な面で本当にお世話になりました。昇を卒業しても、感謝の気持は決して忘れません。三年間本当にありがとうございました。

介護福祉系列 M・K

私は介護福祉系列で勉強しました。系列の特徴は、介護現場でも使える知識と技術を中心に勉強することです。そして、介護福祉士国家試験合格に向けて仲間全員で取り組みました。介護の勉強は、分からないところがあったら、質問し、皆で分からない部分を話し合ったりして、問題を解いていくうちに、自分の苦手な部分や得意な部分が出てきて、日々の勉強がとても充実しているように感じるものでした。

系列に入って特に学んだことは、仲間の存在です。私にとってかけがえのない存在です。一人ひとり個性があり、いない人のことを気にかけたり、誰かが悩んでいたら、皆で相談に乗ったりするところがあったりと、本当にこの系列のメンバーには感謝してもしつけない程です。

最後に先生方には本当に感謝しています。この系列で学んだことを生かして、大学でも福祉の勉強をしていきたいです。

環境技術系列 S・S

私は、私の夢を叶えるためという目的があって、環境技術系列を選択しました。

一年の頃は測量の実習が多く、人数も十人居て賑やかでした。あれから大分経ちますが、今でも機材の取り扱いを覚えています。二年になると六人まで人数が減り、授業の内容も「国家試験対策」といった雰囲気がかもし出していました。

中・高で習うような数式ではあるのですが、土木設計担当の鳥やん先生が言うには、「難しいんじゃない、ややこしいんじゃない」とのこと。実際、土木の現場で使う数式は「基礎の応用、その応用」というものが多く、忘れてしまった数式を思い起こしたり専門性の高い土木用電卓の叩き方などなど、忘れられないような事ばかりの知識をもらいました。

三年になって殆どの試験が終わってしまうと、授業時間がとても長く感じることもありましたが、電気溶接で作ったベンチカバーが十年後に残っているか、というささやかな楽しみも出来ました。

系列を選んだ結果が良かったかどうか。昇学園で良かったかどうかは、やはり卒業間際にならないと解りません。悔いの残らない日々を送るなら、その日に出来る事をしてみてください。

総合スポーツ系列 M・K

私は総合スポーツ系列で、様々なスポーツを学んできました。中でも野外活動の授業では、他の高校や体育の授業ではない種目を学ぶことができました。奥伊勢湖を利用したカヌーやボート、清流宮川沿いに走ったサイクリング、飛騨高山で行なったスキー実習、そして沖縄でのインターハイ出場！どれも貴重な経験でした。思い出深いことばかりです。特に、私が一番印象に残っているのが、ゴルフの授業です。初めは、力任せで全くうまくいかず、投げやりになってしまいました。挫けていると、そこにはいつも岡村先生の姿があり、「スポーツは力だけでなく、精神も要する競技だ」と伝授してくださいました。その結果、体力向上はもちろん、忍耐力も身につきました。このようにして、楽しく且つケガもなく過ごせたのは、先生方のお陰です。とても感謝しています。将来は、昇スポ系の先生方の様に、常に面白く、時には厳しく、時には優しい教師を目指します。今まで本当にありがとうございました。

美術工芸系列 T・M

私は、絵を描くのが好きでした。美術工芸系列で学んだことは、初めてパソコンを使った制作でした。自分の描いた絵を、スキャナーに取り込み、色を塗ったり、Tシャツのデザインを作ったりしました。絵画では、モチーフをデッサンしてから、油絵の具で色を塗りました。でも、色合いやモチーフの配置が難しく苦戦したりしました。この二年間初めてのことをいろいろ体験して、自分の苦手なところ、自分が得意なところを発見でき、自分でも二年生の時の絵を見ると、すごく成長できたと思います。前の自分は、これは苦手だからしたくないかと思って、自分の可能性をつぶしていたと、今私は思っています。でも、やってみると、自分できるやん、と思うことが多くありました。だから、自分で初めてやることも、始めからできないと決めつけないで、全力で頑張ろうと思いました。

これから、この美術系列で学んだことを、いろんなところで発揮したいと思います。卒業しても絵を描いていきたいと思っています。

<2011年3月1日発行の昇学園新聞の記事です。名前はイニシャルにしています。>